

より安心安全な通行を確保するために

気付きと行動で私たちの道路を守りましょう

本市では、皆さんが安全に通行できるよう、定期的な道路パトロールを行っています。より安心安全な通行を確保するため、皆さんの協力をお願いします。

《問合せ》建設課 ☎23-1115

○道路の破損を見つけたら

「道路に穴が開いている」「側溝のふたが壊れている」など、道路の破損は、交通事故の原因になる場合があります。破損を見つけた場合は、お手数ですが、建設課に連絡してください。

○私有地の適正な管理をお願いします

私有地の樹木や雑草は、所有者の責任で管理をお願いします。道路にはみ出した枝などは通行の妨げになる場合があります。はみ出した枝を除去するなど適正な管理をお願いします。

○道路の草刈りに協力をお願いします

本市の市道延長は約1,300kmあります。市では、堤防道路や交通量が多い道路など、通行に危険を伴う箇所から草刈りを実施していますが、全ての道路では実施できておりません。自宅前や身近な道路の草刈りは、可能な範囲で協力をお願いします。なお、草刈り作業にあたっては、熱中症や事故、怪我などに十分注意してください。

○農作業後の泥などは片付けましょう

トラクターなどから落ちる泥のかたまりは通行の妨げになる場合がありますので、安全のため、片付けていただきますようお願いいたします。

日頃から道路維持管理にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。



第28回 「気候」と「食」の未来

脱炭素を推進するため、身近な環境問題と家庭でできるエコ活動を紹介し
ます。 《問合せ》コウノトリ共生課脱炭素推進室 ☎21-9136

大雪に見舞われた冬もようやく終わり、過ごしやすい季節を迎えました。

しかし、近年、気候変動の影響として指摘されてきた「年間の降雪量は減る一方で、短期間に大量の雨が降る」「雨が降るときには豪雨となり、降らない地域では水不足がより深刻化する」という予測が現実のものとなっていることを実感せざるを得ません。

今年の1月、スイスで開催された世界経済フォーラム(ダボス会議)では「水」が主要テーマの一つとなりました。干ばつや水害が産業や私たちの生活に及ぼす影響、そして自然の恵みに依存する農業や「食料」の持続可能性について、多くの議論が交わされました。その中で、カナダのカーニー首相は演説内で「食料などを自立できない国には、選択肢がほとん

どない」との趣旨の発言もしています。気候変動が進むなか、食料を海外に依存する国ほど国際情勢や自然災害の影響を受けやすくなるという現実を考えさせられます。

近年、食料品の値上がりが極端で、全体の家庭支出を押し上げました。円安や人件費の高騰に加え、気候変動による不作や不漁が大きな要因となっています。しかし、輸入依存を減らしたり、農業者や生産量を増やたりすることは、簡単ではありません。

以前「地産地消」「旬菜旬消」に触れましたが、生産者を選び、感謝し食べ続けることが、私たち誰にもでき、自分たちの「食」の未来を守ること、安心できることだと思っています。

NPO法人 暮らしのエコをすすめる但馬の会